

第 398 回 大阪大学臨床栄養研究会 (CNC)

日時：令和元年 6 月 10 日（月）18:00
場所：大阪大学医学部講義棟 2 階 B 講堂

テーマ：糖尿病性腎症重症化予防 ～国の情勢を踏まえた市町の取り組みと医療連携～

摂津市 保健福祉部 保健福祉課
保健師 小林 まり子

我が国が世界的に長寿である理由の 1 つは、国民皆保険制度という医療を誰もが受けられる仕組みがあるからであり、この制度が維持していくように、国は予防可能な疾患への保健事業の取り組みを推進しています。その 1 つが平成 20 年度から始まった特定健診、保健指導です。そして、平成 30 年度は新たに国策として、経済産業省などを巻き込み、すべての保険者を対象に糖尿病性腎症重症化予防を始めました。

そして、この事業の要は、患者を中心とした保険者と医療機関（かかりつけ医、専門医、薬剤師、栄養士など）との連携、ネットワークの構築になります。

今回は、なぜ今「糖尿病性腎症重症化予防」なのか、その背景と具体的な取り組みについて、摂津市を例に紹介させていただきます。

世話人： キャンパスライフ健康支援センター 守山敏樹
E-mail: moriyama@wellness.hss.osaka-u.ac.jp

次回第 399 回 CNC は阪森亮太郎先生のお世話で、令和元年 7 月 8 日（月）に開催予定です。